

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5043	(H.24)No.	5043
-----------	------	-----------	------

事務事業名		文化財施設管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	1	市民文化
	小施策	2	文化施設の充実
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	502001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	文化施設管理費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	文化振興費	文化財施設管理費	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
国史跡夏見廃寺ならびに夏見廃寺展示館と、県史跡名張藤堂家邸の維持管理。	

めざす効果(事業目的)
文化財施設の維持管理と、文化財公開施設として見学者の利便を図ります。 また、名張の文化財を全国発信します。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
	需用費 1,119千円 役務費 186千円 委託料 1,128千円	需用費 1,029千円 (うち修繕料 180千円) 役務費 194千円 委託料 1,596千円	補助金・交付金	その他 ( )		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
			需用費 1,029千円 (うち修繕料180千円) 役務費 194千円 委託料 1,596千円	需用費 1,029千円 (うち修繕料180千円) 役務費 194千円 委託料 1,596千円	需用費 1,029千円 (うち修繕料180千円) 役務費 194千円 委託料 1,596千円	
<b>直接事業費</b>	<b>2,433千円</b>	<b>2,819千円</b>	<b>2,819千円</b>	<b>2,819千円</b>	<b>2,819千円</b>	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他(使用料・諸収入)	629	820	820	820	820
一般財源	(0) 1,804	1,999	1,999	1,999	1,999	
人工数	職員	0.20人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
	臨時職員等	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 1,630千円</b>	<b>2,360千円</b>	<b>2,360千円</b>	<b>2,360千円</b>	<b>2,360千円</b>	
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 4,063千円</b>	<b>5,179千円</b>	<b>5,179千円</b>	<b>5,179千円</b>	<b>5,179千円</b>	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。  
平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	名張藤堂家邸跡の入場利用者数	人	4,059	4,749	3,046	3,421
	実績						
活動指標	目標	夏見廃寺展示館の入場利用者数	人	1,584	1,833	1,072	1,284
	実績						
成果指標	目標	名張の歴史を知っている市民の割合	%	-	-	-	-
	実績						
				38.4	32.6	33.6	33.2

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
施設PRをすると共に各施設の利用者数の向上を図る。	市民活動団体と協力したイベントの開催と内容の充実。 入館受付管理担当者(非常勤職員各3名)の案内技術を向上させることにより、リピーターの増加を図る。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
文化財資源の保護からの観点ではなく、観光資源として入場者を増加させることの要求が強くなっている。	情報発信力が弱い、市民でも知らない人が多い等のご意見をいただいている。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	入館者増に努める。 市民活動団体と協力したイベントの開催。 職員の案内技術向上による、リピーターの増加。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	文化財保護を目的とした小事業が多く設定され、“小事業の縦割り”によるデメリットが大きい ため文化財保護事業に統合することで解消が可能。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	年度ごとに創設される国県等の補助制度等。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	文化財資源として当該地区のまちづくり組織の計画には上がっている。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	文化財資源として当該地区のまちづくり組織の計画には上がっている。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	社会教育施設としての学校利用の促進と、観光施設としての活用を図る。

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項